

全国福祉高等学校長会 主催

令和5年度

社会福祉・介護福祉検定 実施要項

全国福祉高等学校長会 資格検定部

社会福祉・介護福祉検定事務局

Email:fukushi@mg-h.ed.jp (松山学院高等学校:愛媛県)

まえがき

日本の高等学校教育において「福祉」が芽生え始めたのは、「平成」という新たな年号が世に示される2～3年ほど前のことでした。その後「平成」のスタートと共に、高等学校における「福祉」教育は、全国で次々と産声を上げてきました。それからわずか四半世紀ほどの間に、想像を超える勢いで日本の高齢化は進み、今日では「福祉」「介護」という言葉を日常生活で耳にしない日が無いほどとなりました。「福祉」教育の重要性は、まるで高齢化に比例するかのようになり、肩を並べてその重みを増してきています。

全国の高等学校で「福祉」を学ぶ多くの生徒達は、これからの高齢化を陰で支えてくれる貴重で力強い人材そのものとなります。彼ら個々の学びのスタイルは幾つかに分かれ違いもありますが、「福祉」を学ぶという根本的な意識と姿勢は、何ら変わるところはありません。彼らの学びに一つの指針を設けることは、より大きな意識の高揚と確かなスキルアップにつながり、ひいては、より多くの優れた人材育成につながるものと考えます。

「社会福祉・介護福祉検定」は、まさに彼らの学びの指針として、平成30年度より1級・2級・3級・4級と体系が整えられ、令和5年度はスタート以来9年目を迎え、進化・発展が続いております。昨年度と同様に、現在新型コロナウイルス感染症予防のため、学校現場では諸々の困難の中で授業等が行われていることとお察し申し上げます。各高等学校におかれましては、本検定の意義・目的を充分ご理解いただき、今回も「福祉」を学ぶより多くの生徒たちへご推奨していただければ幸いです。

全国福祉高等学校長会
理事長 高橋 秀親

目 次

1	検定概要	1
2	今年度のスケジュール	5
3	検定試験の流れ	6
4	検定試験当日の留意点	8
5	検定試験実施上の留意点	9
6	検定試験の実施期間について	9
7	採点について	9
8	合格基準	9
9	合格について	9
10	合格証書について	9
	検定事務局より	9

1 検定概要

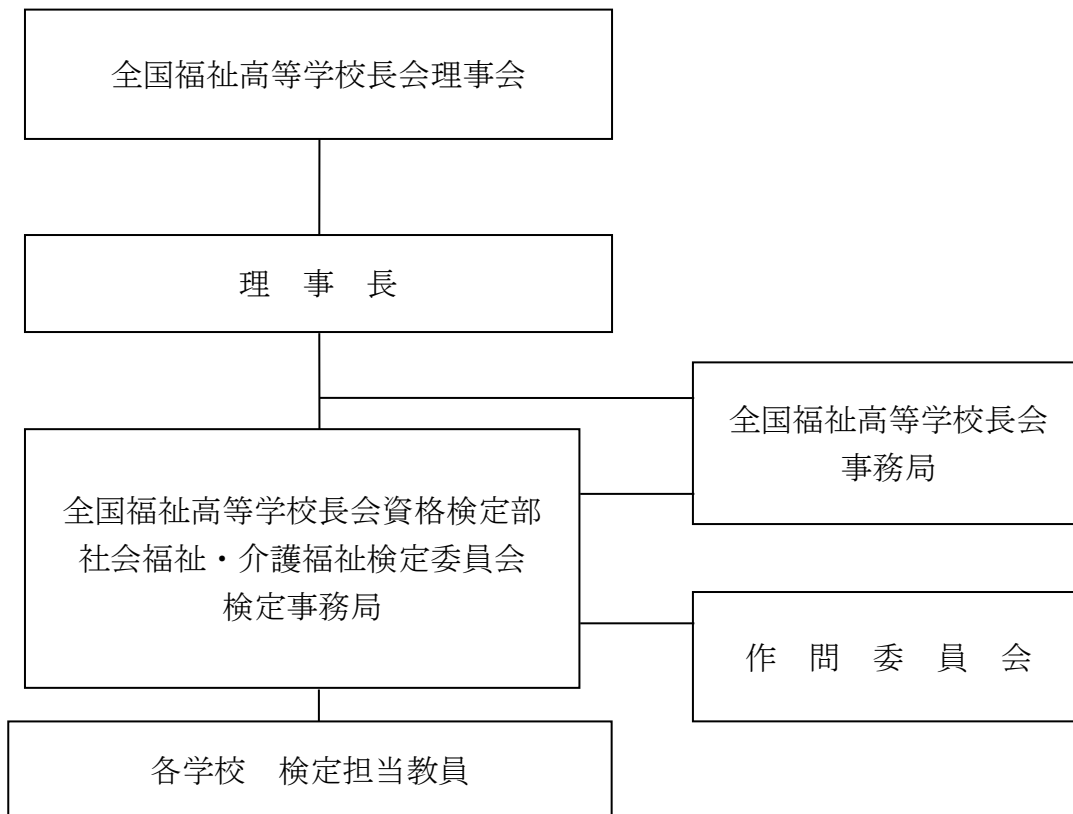
(1) 主催者

全国福祉高等学校長会

(2) 目的

福祉を学ぶ高校生の意識を高め、社会福祉及び介護福祉に関する知識及び技術の向上を図るため、検定を実施する。このことにより、社会福祉及び介護福祉の増進を図る。

(3) 組織



- ・ 作問委員会（問題作成等）における会議は、必要に応じて随時開催する。作問委員は全国福祉高等学校長会各地区理事の推薦によって理事長が委嘱する。
- ・ 社会福祉・介護福祉検定に関する事項は、第1回理事会及び学科主任等代表者会議、全国福祉高等学校長会総会・研究協議会並びに福祉担当教員等研究協議会等の折に必要なに応じて協議する。
- ・ 社会福祉・介護福祉検定の各事項については全国福祉高等学校長会理事会の決定を受け、資格検定部と作問委員（別途委嘱）にて運営を行う。

(4) 受験資格

高等学校において、教科「福祉」及びこれと同等の内容を学ぶ生徒であること。なお、受験者は各自の学びの状況に応じた級から受験することができる。

(5) 各級の概要

	4級	3級	2級	1級
ねらい	教科「福祉」における科目「社会福祉基礎」及び「介護福祉基礎」の基礎的な学びを確認する。	介護職員初任者研修の修了を目指す高等学校における学びを確認する。	介護職員実務者研修を教育課程におく高等学校（福祉に関する科目が20～34単位程度）や介護福祉士国家試験を受験する高等学校における学びを確認する。	介護福祉士国家試験を受験する高等学校における3年間の学びを確認する。
出題範囲	「社会福祉基礎」「介護福祉基礎」の教科書（実教出版）から出題する。	「社会福祉基礎」「介護福祉基礎」「生活支援技術」「こころとからだの理解」の教科書（実教出版）から出題する。	「社会福祉基礎」「介護福祉基礎」「生活支援技術」「こころとからだの理解」「コミュニケーション技術」「介護過程」の教科書（実教出版）から出題する。	介護福祉士国家試験と同等の内容を出題する。 【前半】 ①人間の尊厳と自立 ②人間関係とコミュニケーション ③社会の理解 ④こころとからだのしくみ ⑤発達と老化の理解 ⑥認知症の理解 ⑦障害の理解 ⑧医療的ケア 【後半】 ⑨介護の基本 ⑩コミュニケーション技術 ⑪生活支援技術 ⑫介護過程 ⑬総合問題
	<p>新教育課程への移行に伴い、教科書（実教出版）が順次改訂されております。出題範囲は、最新の教科書の内容を基準にしています。</p>			
検定料	500円	500円	500円	800円
問題数	二者択一 100問	二者択一 150問	三者択一 150問	五者択一 125問
時間	50分	50分	80分	220分 (前半110分・後半110分)
検定委員	各学校の教科「福祉」担当教員もしくは関係教科の教員			
検定会場	各学校			

(6) 出題基準

【4級】

「社会福祉基礎」「介護福祉基礎」の教科書（実教出版）から二者択一方式で出題する。

○社会福祉基礎	50問程度
○介護福祉基礎	50問程度
<hr/>	
	計100問

【3級】

「社会福祉基礎」「介護福祉基礎」「生活支援技術」「こころとからだの理解」の教科書（実教出版）から二者択一方式で出題する。

○職務の理解	5問程度
○介護における尊厳の保持・自立支援	5問程度
○介護の基本	15問程度
○介護・福祉サービスの理解と医療との連携	25問程度
○介護におけるコミュニケーション技術	10問程度
○老化の理解	10問程度
○認知症の理解	15問程度
○障害の理解	15問程度
○こころとからだのしくみと生活支援技術	50問程度
<hr/>	
	計150問

【2級】

「社会福祉基礎」「介護福祉基礎」「生活支援技術」「こころとからだの理解」「コミュニケーション技術」「介護過程」の教科書（実教出版）から三者択一方式で出題する。

○社会福祉基礎	25問程度
○介護福祉基礎	25問程度
○生活支援技術	40問程度
○こころとからだの理解	35問程度
○コミュニケーション技術	15問程度
○介護過程	10問程度
<hr/>	
	計150問

【1級】

介護福祉士国家試験を受験する高等学校における3年間の学びを確認するものであり、介護福祉士国家試験と同等の内容（医療的ケアを含む）から五者択一方式で出題する。

<前半>

①人間の尊厳と自立	2問程度
②人間関係とコミュニケーション	4問程度
③社会の理解	12問程度
④こころとからだのしくみ	12問程度
⑤発達と老化の理解	8問程度
⑥認知症の理解	10問程度
⑦障害の理解	10問程度
⑧医療的ケア	5問程度

<後半>

⑨介護の基本	10問程度
⑩コミュニケーション技術	6問程度
⑪生活支援技術	26問程度
⑫介護過程	8問程度
⑬総合問題	12問程度

計125問

2 今年度のスケジュール（「3 検定試験の流れ」と合わせて御確認ください）

	日程	各学校	事務局へ	備考
9月	[実施要項配布] 9月1日（金）	・実施要項の確認 （ <u>ダウンロード</u> ） ・検定試験の周知 ・各種様式（Excel ファイル）の <u>ダウンロード</u>		・全国福祉高等学校長会の <u>ホームページからダウンロード</u> する。
10月	[申込期間] 10月1日（日） ～ 10月31日（火）	【STEP 01】 申込票（兼受験票） 及び領収書の記入 【STEP 02】 検定料の集金及び振込 【STEP 03】 受験者名簿の作成 【STEP 04】 Web で受験申込	振込・申込期限 <u>10月31日（火）（厳守）</u>	・振込手数料を差し引いた金額を振り込む。
11月	[問題受領] 中旬	【STEP 05】 問題用紙等受領	受領確認（メール） <u>問題受領後、速やかに</u>	・問題用紙と解答用紙をメールで受領する。
12月	[検定実施] 12月3日（日） ～ 12月10日（日）	【STEP 06】 検定実施・採点 【STEP 07】 合格者名簿等の報告	合格者名簿等の報告期限（メール） <u>令和6年1月5日（金）（厳守）</u>	・12月11日（月）に解答をメールで通知する（ホームページにも掲載予定）。 ・合格者名簿は各学校でも保管すること。
1月	[合格証書受領] 下旬	【STEP 08】 合格証書受領		・合格発表日及び合格証書授与日は各学校に一任する。

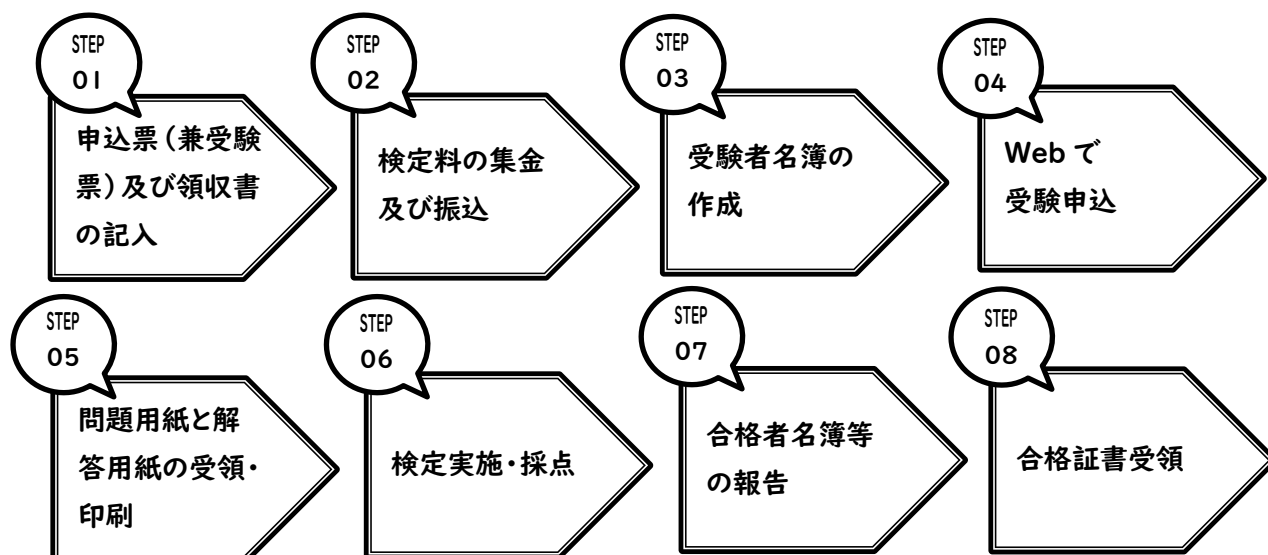
問題受領確認メール・合格者名簿等の報告メール

Email : fukushi@mg-h.ed.jp

検定事務局（松山学院高等学校：愛媛県）まで

3 検定試験の流れ

全国福祉高等学校長会のホームページから実施要項および各種様式（Excel ファイル）をダウンロードしてから【STEP 01】にお進みください。ホームページからダウンロードできない場合は、検定事務局まで御連絡ください（表紙に記載のメールアドレス）。



【STEP 01】

受験希望者は、申込票（兼受験票）及び領収書（様式1-1、1-2）の必要事項を記入し検定担当教員に提出する。

【STEP 02】

受験希望者は、検定料を添えて申込票（兼受験票）及び領収書を提出する。検定担当教員は、領収書を発行し、集金した検定料を速やかに検定事務局の指定口座（下記）に振り込む。【振込期限：令和5年10月31日（火）】

振込先

銀行名	みちのく銀行
支店名	青森中央営業部（店番：014）
種類	普通預金
口座番号	2686104
口座名	全国福祉高等学校長会主催 社会福祉・介護福祉検定 理事長 高橋秀親
フリガナ	ゼンコクフクシコウトウガッコウチョウカイシュサイ シャカイフクシ・カイゴフクシケンテイ リジチョウ タカハシ ヒデチカ

※入金後の返金はいたしかねます。なお、検定料は振込手数料を差し引いた金額を振り込んでください（振込手数料を引かずに振り込んだ場合は返金できません）。

お願い 数回に分けて検定料を振り込むと、その分、振込手数料が掛かってしまいます。期限までに振込が難しい場合は、事前に検定事務局までご連絡ください。

(表紙に記載のメールアドレス)

【STEP 03】

検定担当教員は、「受験者名簿」(様式2-1、2-2、2-3、2-4)を作成し、受験者へ受験番号を記入した受験票を配付する。

【STEP 04】

検定担当教員は、【10月1日(日)～31日(火)】の期間に申込フォーム(下記)から受験申込を行う(必ず検定料の振込後に申し込んでください)。

令和5年度社会福祉・介護福祉検定申込フォーム



入力項目

- | | | |
|-----------------|------------------|--------------|
| (1) 学校番号 | (2) 学校名 | (3) 学校郵便番号 |
| (4) 学校住所 | (5) 学校電話番号 | (6) 検定担当者役職名 |
| (7) 検定担当者名 | (8) 検定担当者名(フリガナ) | |
| (9) メールアドレス(PC) | (10) 4級申込人数 | |
| (11) 3級申込人数 | (12) 2級申込人数 | (13) 1級申込人数 |
| (14) 検定料の合計 | (15) 振込手数料 | (16) 振込金額 |

【STEP 05】

11月中旬、検定担当教員はメールで問題用紙と解答用紙を受領する。受領後速やかに、検定事務局宛に受領確認メールを送る。各学校で問題用紙と解答用紙を印刷する。

お願い メールのはじめは、【学校番号+学校名+(問題受領)】としてください。

(例:「38-5 松山学院(問題受領)」)

【STEP 06】

各学校で設定した期日【12月3日(日)～10日(日)】に検定を実施する。解答は12月11日(月)にメールで通知する(ホームページにも掲載予定)。

【STEP 07】

検定担当教員は、「合格者名簿」(様式2-1、2-2、2-3、2-4)、「合格者数」(様式3)を作成し、【令和6年1月5日(金)】までに検定事務局にメールで報告する。

お願い メールのはじめは、【学校番号+学校名+(合格者名簿等の報告)】としてください。(例:「38-5 松山学院(合格者名簿等の報告)」)

1月下旬、各学校は検定事務局から送付された合格証書を受領する。受領後、合格証書に証書番号、氏名等を記入し合格者に授与する（証書番号・授与の時期は各学校に一任）。なお、合格証書が紛失した場合において再発行は行わない。

お願い 検定を実施したすべての学校から「合格者名簿」（様式2-1、2-2、2-3、2-4）、「合格者数及び合格証書必要枚数」（様式3）の報告がないと各学校に合格証書を送付することができません。令和6年1月5日（金）の報告期限を厳守してください。

4 検定試験当日の留意点

- (1) 検定会場には試験内容に関する掲示等は一切しない。
- (2) 検定担当教員は受験者を検定会場に受験番号順に着席させる。
- (3) 受験票を机上の統一した位置に置かせる。
- (4) 検定担当教員は問題用紙及び解答用紙を配付する。
- (5) 「はじめてください」の合図で試験を開始する。
- (6) 検定担当教員は試験内容に関する質問に答えてはならない。
- (7) 「終わりにしてください」の合図で試験を終了する。（級によって試験時間が異なることに留意する）

5 検定試験実施上の留意点

- (1) 複数の級の検定試験を実施する学校は、2日以上に分けて実施することができる。ただし、1つの級を2日以上に分けて実施することはできない（1級を除く）。
- (2) 1級試験は、前半（110分）と後半（110分）の間に休憩時間を設けることができる。又、前半と後半を2日に分けて実施することができる。
- (3) 試験中に地震等やむを得ない理由で試験を一時中断する事態が生じた時は、検定担当教員が判断して対処する。中断した場合にはその時間を計り、検定時間に上乗せする（例：4級試験で5分の中断→中断時間を加えた55分で試験を実施する）。
- (4) 欠席者等に対する追試験は行わない。

6 検定試験の実施期間について

全国一斉の期間に厳正に行う。やむを得ない事由で実施期間を変更する場合には、事前に検定本部事務局と協議する。

7 採点について

各学校の検定担当教員が「8 合格基準」を基に適正に行う。なお、解答については12月11日（月）に検定本部事務局から各学校の検定委員宛にメールで通知する（全国福祉高等学校長会ホームページにも掲載予定）。

8 合格基準

1級	5択 125問 (医療的ケアを含む)	6割程度	75点以上
2級	3択 150問 (医療的ケアを含まない)	7割程度	100点以上
3級	2択 150問	7割程度	100点以上
4級	2択 100問	7割程度	70点以上

9 合格について

得点が合格基準に達したものを合格とする。

10 合格証書について

各学校の検定担当教員が検定事務局に各級の合格者数を報告することにより、各学校に必要な数の合格証書が送付される。合格証書の筆耕（又は印刷）は各学校で行う。

検定事務局より

1 お問い合わせについて

検定期間中のお問い合わせは、表紙に記載のメールアドレスまでお願いします。電話やFAXでのお問い合わせは受け付けておりませんので御了承ください。

2 アンケートについて

検定試験の質の向上のためアンケートを実施します。下記QRコードを読み取り、アンケートにお答えください。なお、このアンケートは検定試験を実施された学校の教員を対象にしています。

令和5年度社会福祉・介護福祉検定アンケートフォーム



【アンケート回答受付期間】

令和5年12月11日(月)～ 令和6年2月9日(金)